

稲沢市のこれからの公共施設のあり方に関する 市民意識調査の回答結果について（概要版）

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市の公共施設のこれからのあり方を検討するにあたり、市民の意向や市政に対する意見に関する調査を行い、施策の立案や実施に反映していくことを目的とするものです。

(2) 調査の内容

公共施設の利用状況や見直しに対する考え方などを調査。全 57 項目で、主として選択方式で質問しています。

(3) 調査対象

市内在住の 2,500 人（平成 23 年 11 月 4 日現在の住民基本台帳から満 20 歳以上の方を無作為に抽出）

(4) 調査方法

郵送法

(5) 調査期間

平成 23 年 12 月 1 日から 12 月 16 日まで

(6) 回収率

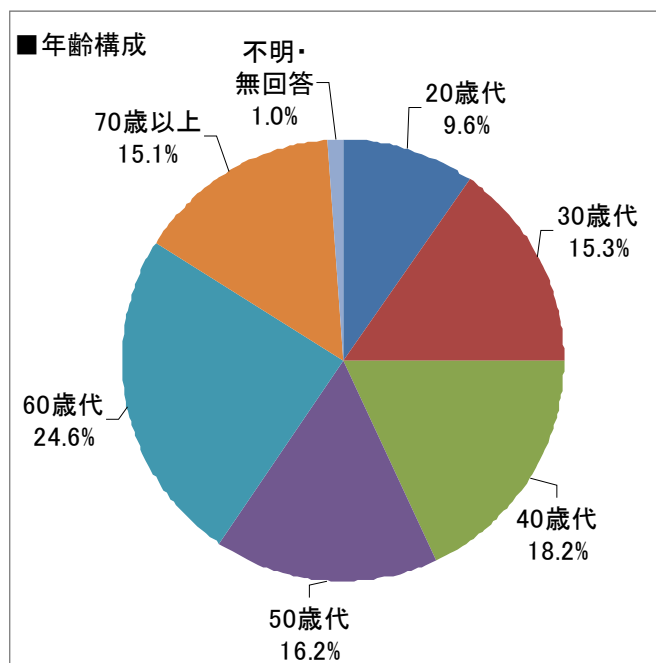
調査対象人数	2,500 人
回答者数	1,420 人
回収率	56.8%



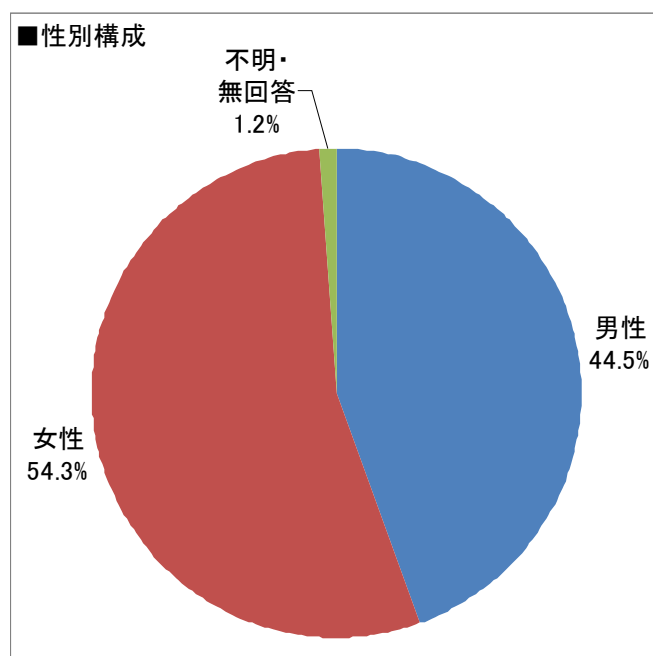
2 回答者の属性

高年齢のかたの回答が4割を占める

回答者の年齢構成を見ると、60歳以上が合わせて39.7%を占めており、高年齢のかたの意見が比較的多く反映される結果となっています。



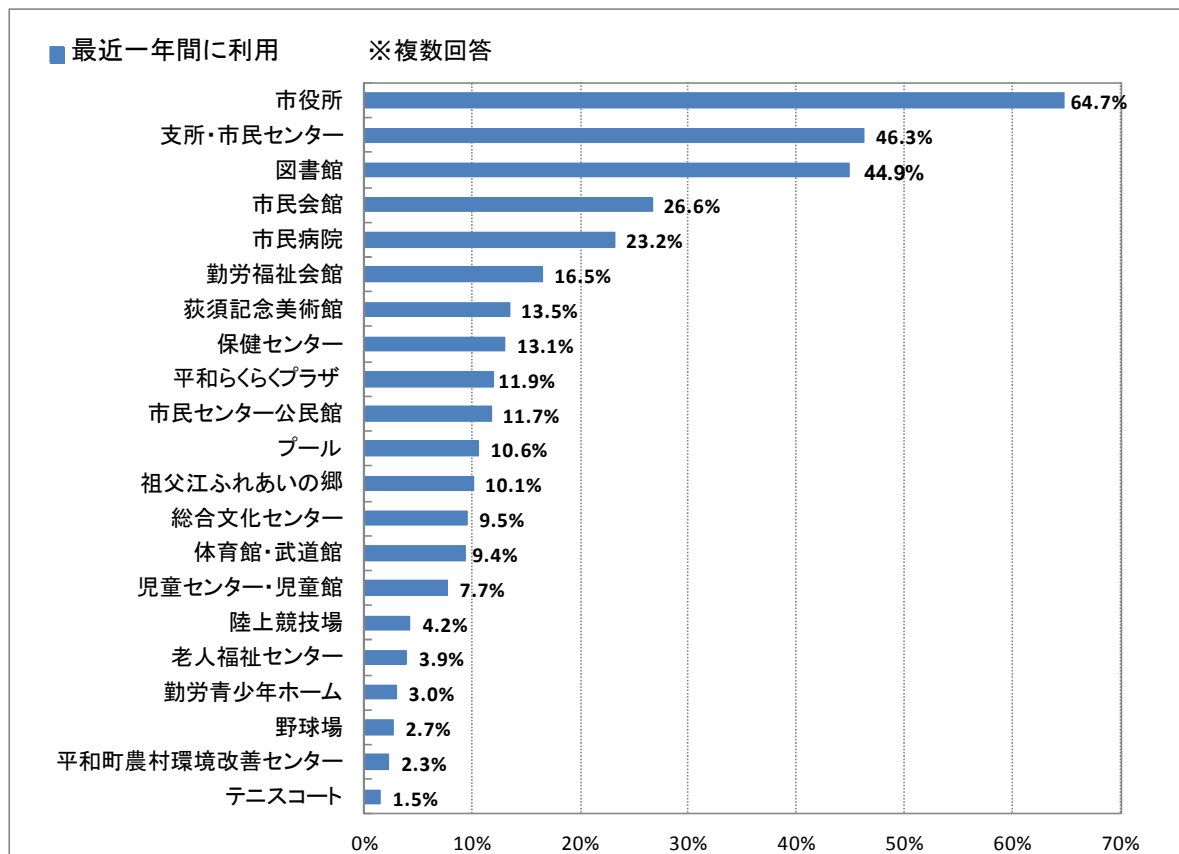
また、性別で見ると、男性44.5%、女性54.3%となっています。



3 主な回答結果

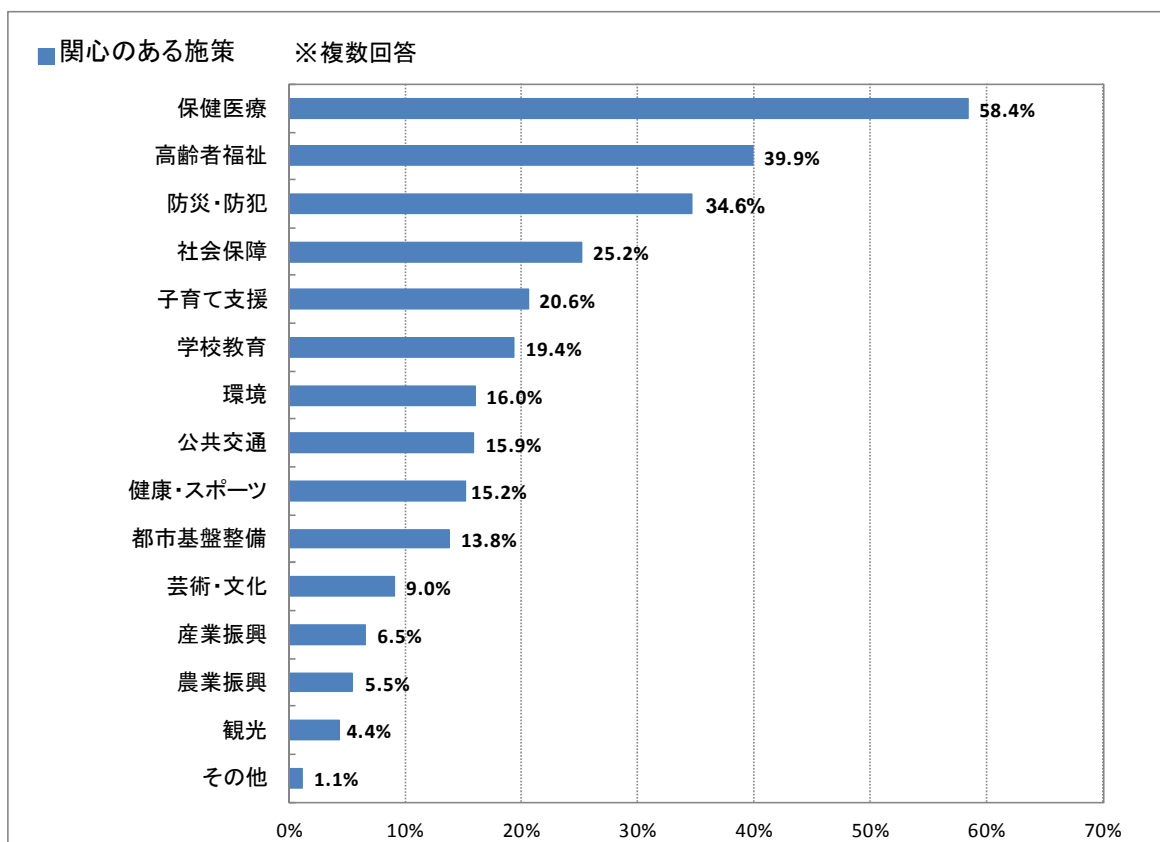
(1) 市役所、支所・市民センター、図書館を多くのかたが利用

「最近1年間に利用された市の公共施設を挙げてください」という設問に対しては、「市役所」と答えた方が64.7%と最も多く、次いで「支所・市民センター」46.3%、「図書館」44.9%という順になりました。



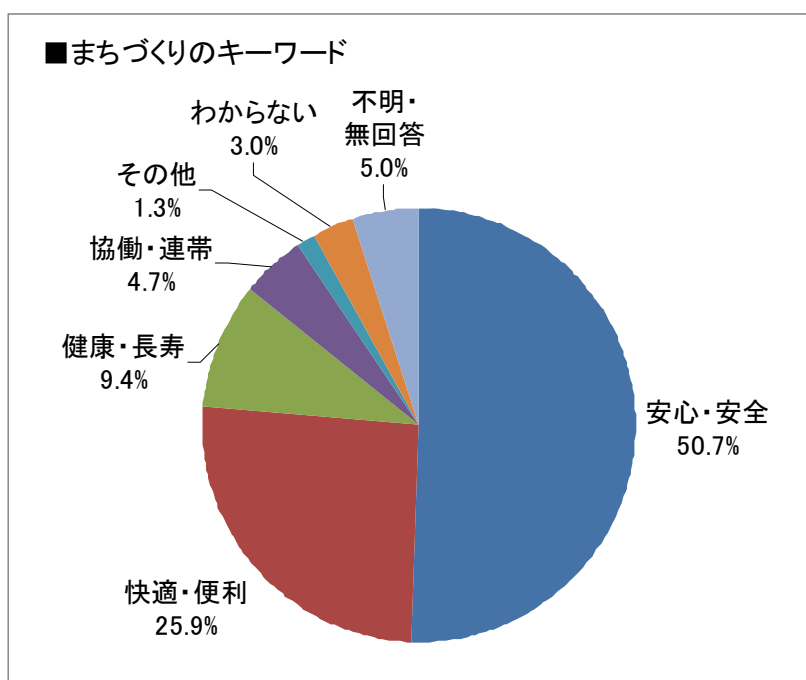
(2) 保健医療、高齢者福祉、防災・防犯に関心が高い

「市の行う施策のうち関心のあるものを三つ挙げてください」という設問に対しては、「保健医療」と答えたかたが 58.4%と最も多く、次いで「高齢者福祉」39.9%、「防災・防犯」34.6%という順になりました。



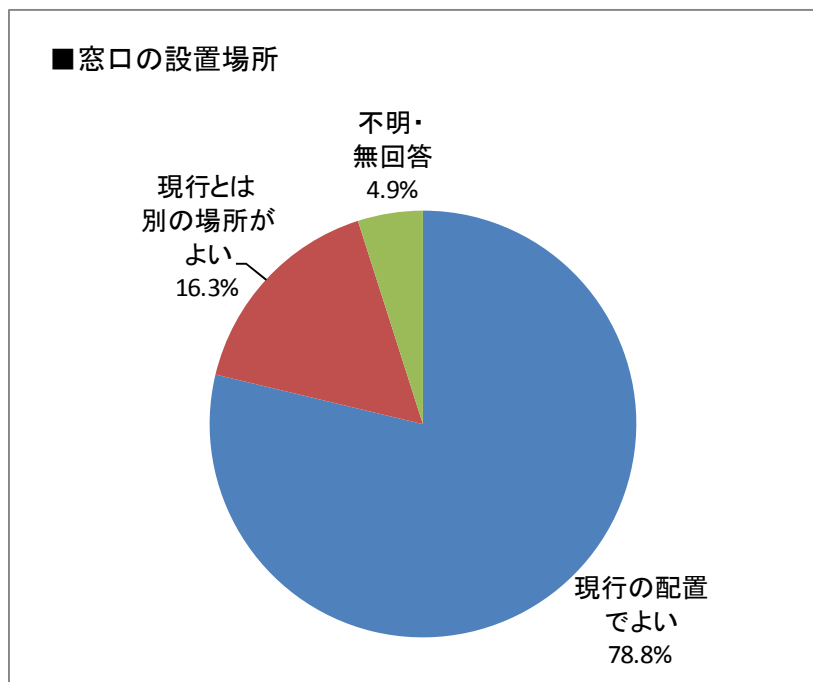
(3) まちづくりのキーワードは「安心・安全」

「これからのまちづくりの方向性について、共感できるキーワードを一つ選んでください」という設問に対しては、50.7%のかたが「安心・安全」と答えています。



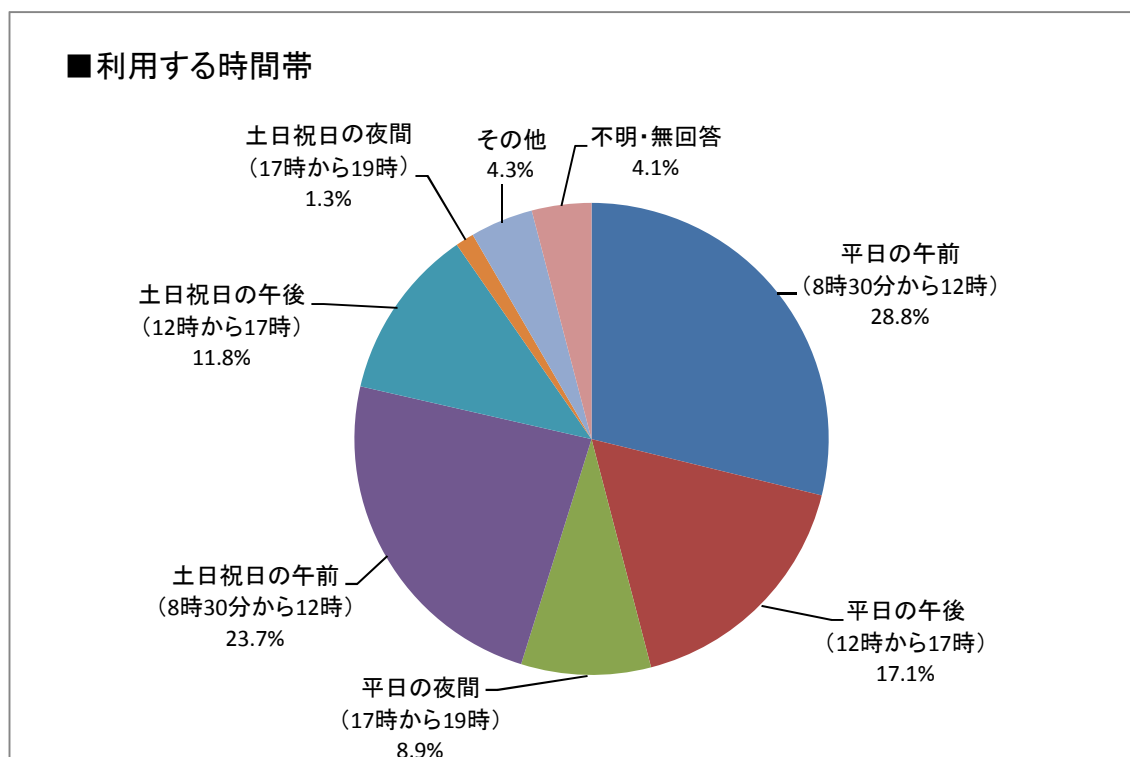
(4) 市役所以外のサービス窓口は現行の配置でよい

「市役所以外のサービス窓口は、どのような場所に設置されることを望みますか」という設問に対しては、78.8%のかたが「現行の配置でよい」と答えています。



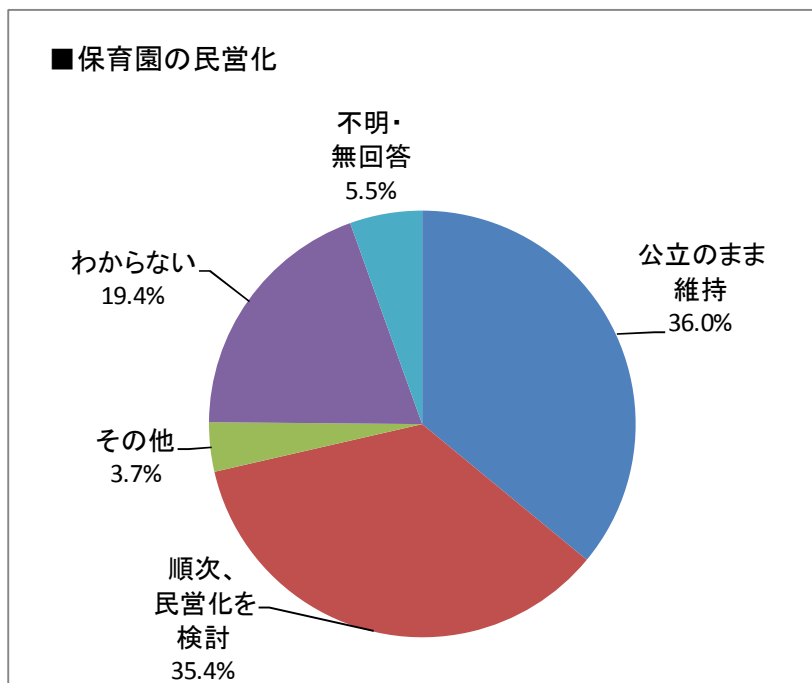
(5) 3割以上のかたが休日の窓口開設を望む

「市役所を含めたサービス窓口について、主にどの時間帯での利用を望みますか」という設問に対しては、平日の利用を望むかたが昼夜合わせて54.8%、土日祝日の利用を望むかたが昼夜合わせて36.8%という結果となり、休日の窓口開設を望む意見が一定程度あることがうかがえます。



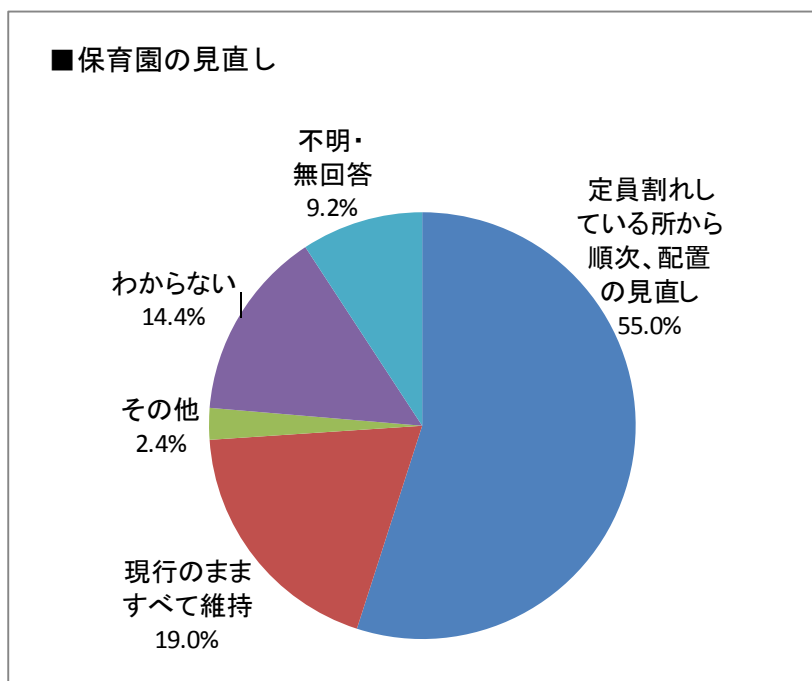
(6) 公立保育園の民営化は賛否が分かれる

「公立保育園の民営化について、あなたの考えに最も近いものを選んでください」という設問に対しては、「公立のまま維持」、「順次、民営化を検討」、「その他・わからない」に三分される結果となり、民営化の是非を判断する材料を市がまだ十分に提供できていないことが原因と考えられます。

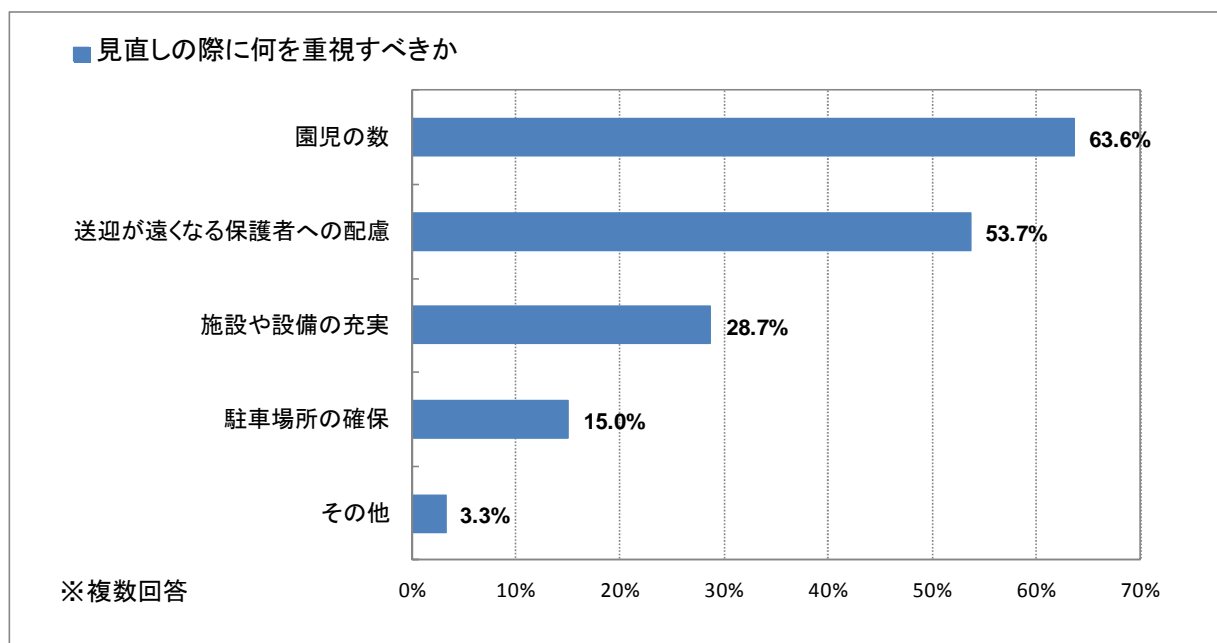


(7) 半数以上のかたが公立保育園の見直しに賛成

「公立保育園を維持するとした場合の今後のあり方について、あなたの考えに最も近いものを選んでください」という設問に対しては、55.0%のかたが「定員割れしている保育園から順次、配置の見直しを検討することが望ましい」と答えています。

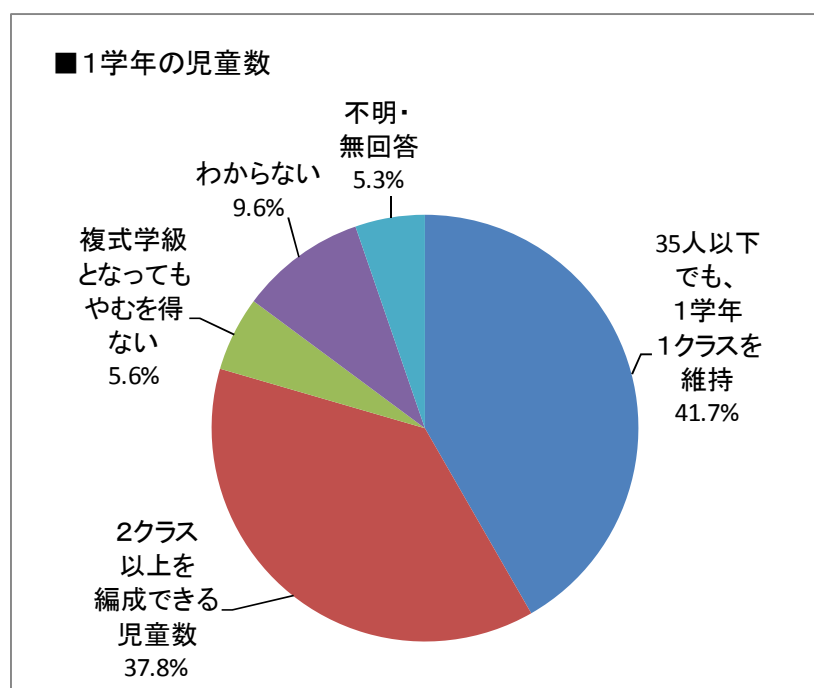


また、「見直しを検討」と答えたかたに対して「検討する際に何を重視すべきと考えますか」と質問したところ、「園児の数」が63.6%と最も多く、次いで「送迎が遠くなる保護者への配慮」が53.7%という順になりました。



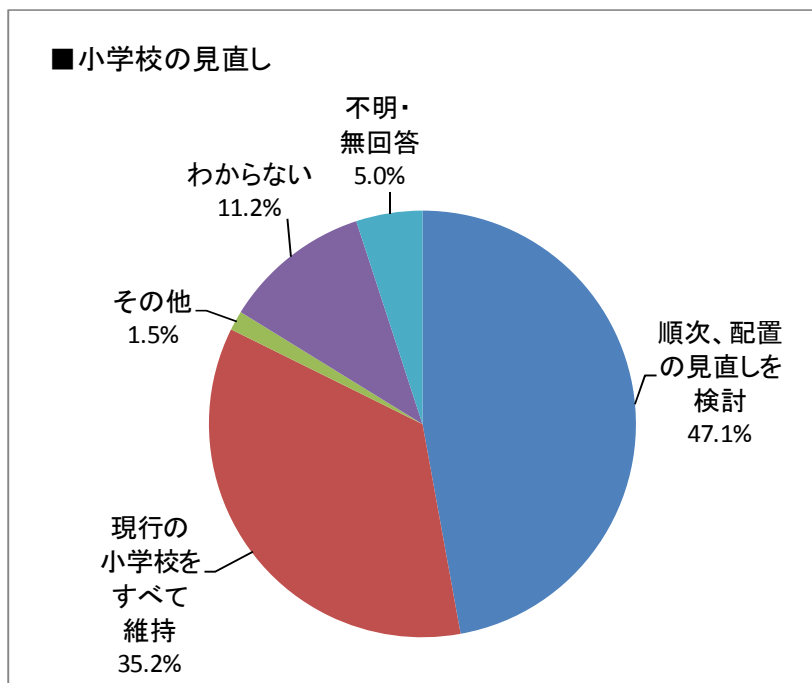
(8) 小学校1学年1クラスの現状に半数近くのかたが理解を示す

市内の小学校23校のうち11校で1学年1クラスとなっている状況を提示した上で、「1学年の児童数について、あなたの考えに最も近いものを選んでください」と尋ねた設問に対しては、複式学級（複数学年で1クラス）を合わせて47.3%のかたが、「1学年1クラスもやむを得ない」と答えています。

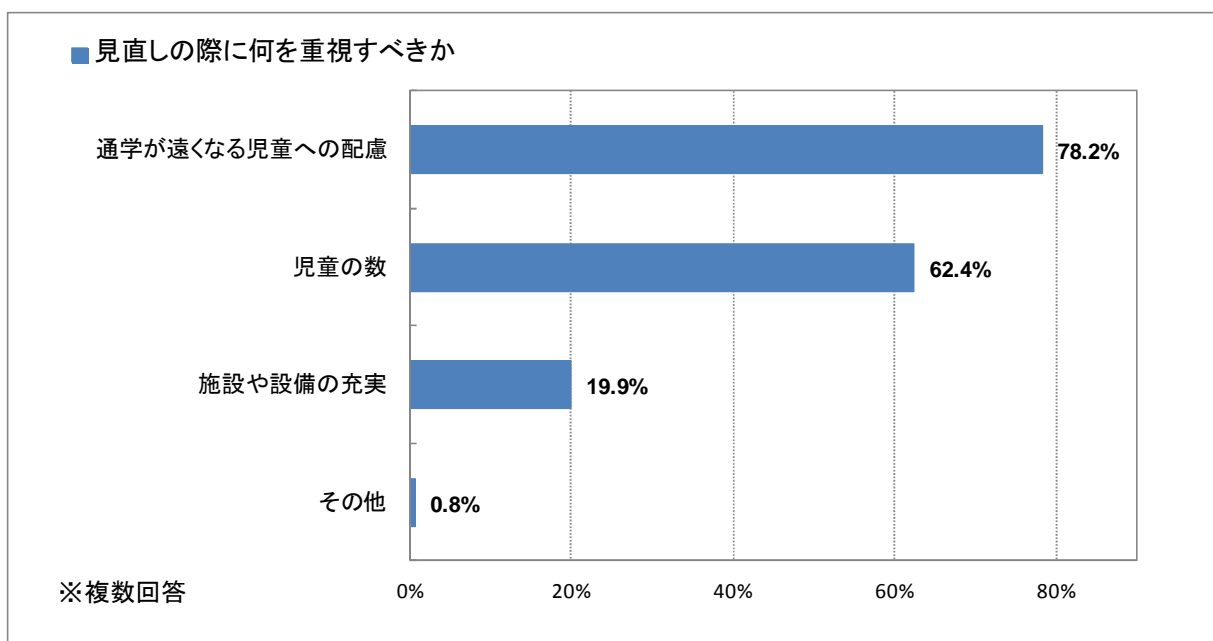


(9) 小学校の見直しには慎重な意見も多い

「小学校の今後のあり方について、あなたの考えに最も近いものを選んでください」という設問に対しては、配置の見直しを望む意見が 47.1%と最も多くなりましたが、その一方で、現行の小学校の維持を望む意見も 35.2%あり、小学校の見直しには慎重な意見も多いことがうかがえます。

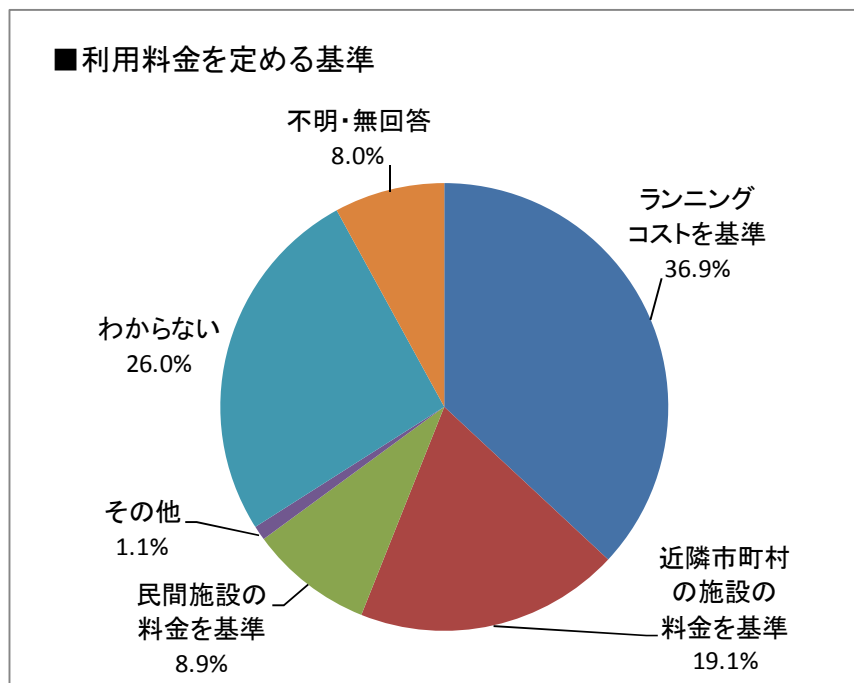


また、「見直しを検討」と答えたかたに対して「検討する際に何を重視すべきと考えますか」と質問したところ、「通学が遠くなる児童への配慮」が 78.2%と最も多く、次いで「児童の数」が 62.4%という順になりました。



(10) 一定の利用者負担には理解を示す意見が多い

現在、市では、有料施設の管理運営経費（ランニングコスト）の1割程度を利用料金でまかない、残りを税金で負担していることを提示した上で、「料金を定める基準について、あなたの考えに最も近いものを選んでください」と尋ねた設問に対しては、36.9%のかたが「ランニングコストを基準」と答えています



また、「ランニングコストを基準」と答えたかたに対して「どの程度を利用料金で負担するべきと思いますか」と質問したところ、合わせて71.8%のかたが「現行の1割を超えて負担するべきである」と答えています。

